

## 第1回次期総合振興計画（区の将来像）に係る北区検討懇話会 議事要旨

**開催日時**：2018年11月28日（水）13：30～15：30

**開催会場**：さいたま市北区役所 B会議室

### 出席者（懇話会委員）：

大宮警察署少年非行防止ボランティア連絡会 委員	薄田 智子 氏
青少年育成さいたま市民会議北区連絡会 常任理事	蛭名 るみ子 氏
さいたま商工会議所商工振興委員会北区商工振興委員会 委員	兼杉 文子 氏
宮原地区自治会連合会 副会長	川鍋 栄 氏（座長）
大宮盆栽協同組合 副理事	黒須 輝夫 氏
さいたま市交通安全保護者の会（母の会）北支部 支部長	小松 佳津江 氏
北区民生委員・児童委員協議会 会長	酒井 こず江 氏
花いっぱい運動推進会 会員	佐藤 清美 氏
大砂土地区自治会連合会 会計監査	島田 清忠 氏
大砂土地区社会福祉協議会 会長	嶋村 豊 氏（職務代理）
日進地区自治会連合会 副会長	清水 登 氏
スポーツ推進委員連絡協議会北区支部 支部長	牧野 奈津子 氏
植竹地区自治会連合会 副会長	松永 敏雄 氏

### （事務局：さいたま市）：

北区役所：新井区長／大塚副区長／関根区民生活部長／石井総務課長

都市経営戦略部：篠葉参与

### 欠席者（懇話会委員）：

北区スポーツ振興会 会長	畔川 清和 氏
さいたま市PTA協議会北区連合会 会長	渡邊 哲也 氏

**議題及び公開又は非公開：（議題）** 北区における「課題」と「将来への期待」について  
北区の将来像・まちづくりのポイントについて  
北区の将来像の見直しについて

**（公開又は非公開の別）** 公開

**傍聴者の数**：0人

**審議した内容：**議題のとおり

**問合せ先：**北区役所 区民生活部 総務課 電話番号 048-669-6013

## 1 開会

## 2 挨拶

区長及び都市経営戦略部副参事より、挨拶があった。

## 3 出席者紹介

委員及び事務局の紹介があった。

## 4 座長及び職務代理者の選出

委員の互選により、座長に川鍋委員を、座長の指定により職務代理者に嶋村委員を選出した。

## 5 意見交換

- (1) 北区における「課題」と「将来への期待」について
- (2) 北区の将来像・まちづくりのポイントについて
- (3) 北区の将来像の見直しについて

各委員より、上記議題について、次のとおり意見及び感想を述べた。

・北区にはよくなった点とこれからの点がある。

・50年以上住んでいるが、交通網、ショッピングモール、教育などが著しく進歩した。市民の森（見沼田圃）は素晴らしい。地域イベントが少なく、名所名物がない。しかしながら地域としては十分に合格点だと思う。

・50年以上住んでいる。街なかに住みながら仕事をしている。北区の人口が流出しないような仕組みをつくっていききたい。幼稚園や病院へ行けることが重要。

・盆栽に45～50年関わってきた。大宮盆栽組合が設立されて90年余り。2017年に世界盆栽大会が開催され外国人が5～6千人、一般客が4万人の来場となった。埼玉盆栽博物館は8年経つが大会後国際的になった。Bonsaiは世界で通じるので、外国人等に対応できるボランティアが増えるとよい。小学校の盆栽教室も開催している。年1回の市民盆栽まつりでは小学生が展示している。

・区民まつり、文化まつりは北区ではどちらも開催され、年々盛り上がっている。大宮警察が移転したため不便であり、分署などが検討できないか。

・防犯のことを考えてほしい。中仙道の宮原まつりでは中学生が参加している。よいこと。高齢者サロン、子どもサロンを社協で開催してはどうか。イキイキ健康体操で生き甲斐にもなる。相続により土地を売却する際に排水等の工事があり、多くの道路が凸凹になっている。自転車には不便でありバリアフリー化をしてほしい。

・旧メディカルセンター近くに住んでいた。今は彩の国メディカルセンターが土呂に開所して便利になった。北部医療センターも診療科が増えよかった。安心である。子育ての保育園は少ない。さいたま市の特徴に応じて、お土産が必要。サッカーや盆栽などではないか。

・さいたま市の特徴は水害が少ないことではないか。北区（帰宅）なので、家庭に寄り添った絆、ソフト面の取組を意識したキャッチフレーズが重要。

・70年経つが、元々は住宅もなく田圃だった。北区では昔は川がきれいで魚もいた。川の整備をしてほしい。

・駅中心に素晴らしい街になった。盆栽、まんが、桜、プラザノース、菜の花がある。残念なのは、いいところを活かしきれていないところ。大宮公園からの導線を盆栽、マンガなどをテーマに商店街も含めて観光化できないか。例えば、駅で盆栽やマンガをアピール。行政として菜の花をビジュアルでアピールすべき。観光地としてバリアフリー化も重要。バス停等での鳥の糞をなんとかしてほしい。車と自転車と歩行者の間の当たり前の小さなルールをあえて啓発すべきでないか。

・64～65年住んでいる。子どもの遊び場の確保が必要。草取りなど昔は皆で対応する文化があったが、今は行政任せになっている。地区別に皆が集まる仕組みが必要。

・さいたま市の10区にはそれぞれ根付いたものがあり、それぞれが機能を分担しているはず。住環境は優れた役割であり、皆の幸せ、繋がり等のソフト面の施策（医療、安全安心、緑、交通等）を北区のイメージとすると分かりやすい。相続で緑が切り売りされている中でどのようにコミュニケーションを深めるかということではないか。大宮区が東日本における交通の要衝であり、北区はその隣という位置づけ。

・住・交通について、鉄道はよいが踏切が多い。9+11の20カ所ある。東西関係が分断されており立体交差にしてほしい。川越線は日進以西が単線。考えてほしい。鉄道博物館は半分北区。一方、シャトル駅にトイレがない。ポイント4の自然について、台風の際に桜が倒れたが盆栽の街としてPRする際にも桜は重要なので整備を続けてほしい。

- ・盆栽についても相続で緑がなくなっていく。農業と同じような仕組みを考えてほしい。
- ・保存林制度で盆栽も補助金がもらえるのではないか。
- ・北区4地区の中で日進には児童センターがない。子どもは重要。
- ・北区は学校が開かれており地域への密着度が高い。コミュニティスクールのモデル校となっている。北区の将来像については基本計画の通りに進めてほしい。
- ・新旧交流について表記の工夫が必要。子育て世代と高齢世代などの交流がしやすいようにすべき。
- ・現在実施している植松小学校以外でも盆栽授業をしてはどうか。生命の大切さを学ぶよい機会となる。
- ・基本計画の実現が重要。
- ・若い世代と高齢世代の交流のまちづくりとしてはどうか。
- ・北区の花を一番目にすべき。
- ・まちづくりは鉄道と川で分断されている。これを繋げることが重要。
- ・盆栽に加えて、氷川神社とセットで人を呼び込んでどうか。鉄道博物館は10年を経て来場者が減少傾向にあった中、1棟増設して人気回復している。北区の宣伝にも活用すべき。
- ・「子育てと高齢者」とあるが、20～30代の女性がスポーツをしていない。北区には体育館がない。そこに多様な機能をワンコインで備え、家から出かける機会を作ることが重要。
- ・子どもがのびのび遊べる環境が必要。
- ・鉄道と川の分断を超える東西交通の充実をバス等のソフトで一体感をつくることが重要。住んでいてよかったとのアンケートがあるが、子どもが転出して誇れるまちづくりが重要。子育て、健康づくり、支え合いなどは重要なので、まとめて書くより書き分けた方がよい。もちつき踊りについては、新しい人を巻き込んだイベントの写真も必要。

・冒頭のキャッチフレーズの「住みたいまちづくり」ではなく、これから何をするかという点を示すべき。産業・働き方については、IT、AI、データへの切り換えが生じる新たなステージの10年間については若者を巻き込んだ形とすることが必要。子どもと高齢者の間となる若者や現役が抜けている。

## 6 閉会